



2016年 安全報告書

京福電気鉄道株式会社




2016年 安全報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)



<目 次>	頁
1. ごあいさつ	1
2. 基本方針	2
3. 事故等の発生状況とその再発防止措置	3
(1) 鉄軌道運転事故	
(2) 災害（地震、暴風雨、落雷など）	
(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）	
(4) インシデント（事故の兆候）	
(5) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保するための取組み	5
(1) 安全対策のための設備等の改善	
(2) 安全教育	
(3) 異常時対応訓練	
5. 安全管理体制	7
(1) 輸送の安全を確保するための体制	
(2) 役職及び役割	
6. 地元の皆さまとの連携とお願い	10
(1) 踏切事故防止キャンペーン	
(2) こども110番の駅	
(3) 併用軌道走行時のお願い	
(4) らんでんパスポートの配布	
7. ご連絡先	11





1. ごあいさつ

～ご利用のお客さまならびに沿線の皆さまへ～

平素は当社嵐山線、鋼索線、架空索道をご利用いただきありがとうございます。

また、当社線沿線でのさまざまな取り組みについて、地域の皆さまに、ご理解、ご協力いただき、重ねて御礼を申し上げます。

公共交通に携わる者として、全役職員が安全最優先の原則のもと、輸送の安全を確保するため、法令の遵守に努めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法及び軌道法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解をいただくために公表するものです。

今後、より一層安全輸送への取り組みを充実させるため、皆さまからのご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

京福電気鉄道株式会社
代表取締役社長 岡本光司





3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄軌道運転事故

本年中においては下記に記載しておりますものを含め運転事故等が6件発生し、負傷者を伴う事故は以下の1件でした。

発生年月日	事故種別	場所	概要
平成27年 10月23日	道路障害事故	蚕ノ社駅 東方	併用軌道を対向してきた小型乗用車が接触してきたもの (乗用車運転手1名負傷)

お客様の安全・安心のため、今後も引き続き事故件数の削減を目標に掲げ、事故防止に努めてまいります。

(2) 災害（地震、暴風雨、落雷など）

鋼索線・架空索道において、雷や強風による30分以上の運転見合わせが計7日発生し、特に平成27年8月17日は強風のため架空索道が約6時間運転を見合わせました。鋼索線・架空索道をご利用のお客様にはご不便をおかけすることとなりましたが、鉄道施設に大きな被害はございませんでした。

昨今の局地的な豪雨による浸水等の危険が予測される場合においては、今後も安全を最優先に運行致します。

お客様にはご不便をおかけする場合も予想されますが、何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。



(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

嵐山線においては、平成28年3月14日午前踏切道における一般車両の軌道内脱輪により北野線で最大30分、遅延する輸送障害が発生しました。

鋼索線においては、平成27年8月3日午後落雷のためケーブルカーにおいて停電が発生。直ぐに復旧するも断続的に激しい雷雨のため最大43分、運転を見合わせました。

その他、信号機器の部品等の老朽化による故障が原因で30分に満たない輸送障害が発生しております。今後も速やかな復旧を図るため、引き続き設備・機器の更新、日常の整備、点検に努めてまいりますとともに、この間、遅延・運休によりご迷惑おかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

(4) インシデント（事故の兆候）

平成27年5月20日、列車検査において632号車の台車に170mmの亀裂が生じているのを発見いたしました。

国土交通省指導のもと、同種台車使用の車両に対する緊急点検及び全般検査時における補強工事を行う対策を実施いたしておりますが、今後も故障等の早期発見・対策に努めてまいります。

(5) 行政指導等

本年は監督官庁による行政指導等は行われておりません。



4. 輸送の安全を確保するための取組み

(1) 安全対策のための設備等の改善

項目	設備名	内容	場所・対象
電気設備	踏切保安装置	踏切制御機器を更新	北野線 帷子ノ辻～ 宇多野間
線路設備	PC 枕木	木製の枕木をコンクリート製の枕木に交換	北野線 帷子ノ辻～ 鳴滝間
線路設備	軌道道床	老朽道床碎石を更新	嵐山本線 帷子ノ辻～ 鹿王院間
線路設備	耐震補強	沓座の補修及び耐震補強	嵐山本線 天神川橋梁
車両設備	補助電源装置	老朽化した補助電源装置を更新	613号車
鋼索設備	巻上装置	老朽化した巻上装置を更新	鋼索線

安全対策については、今後も引き続き第三者機関による現有設備の評価結果に基づき策定した『総合安全対策計画』を基本に、安全性向上に努めてまいります。



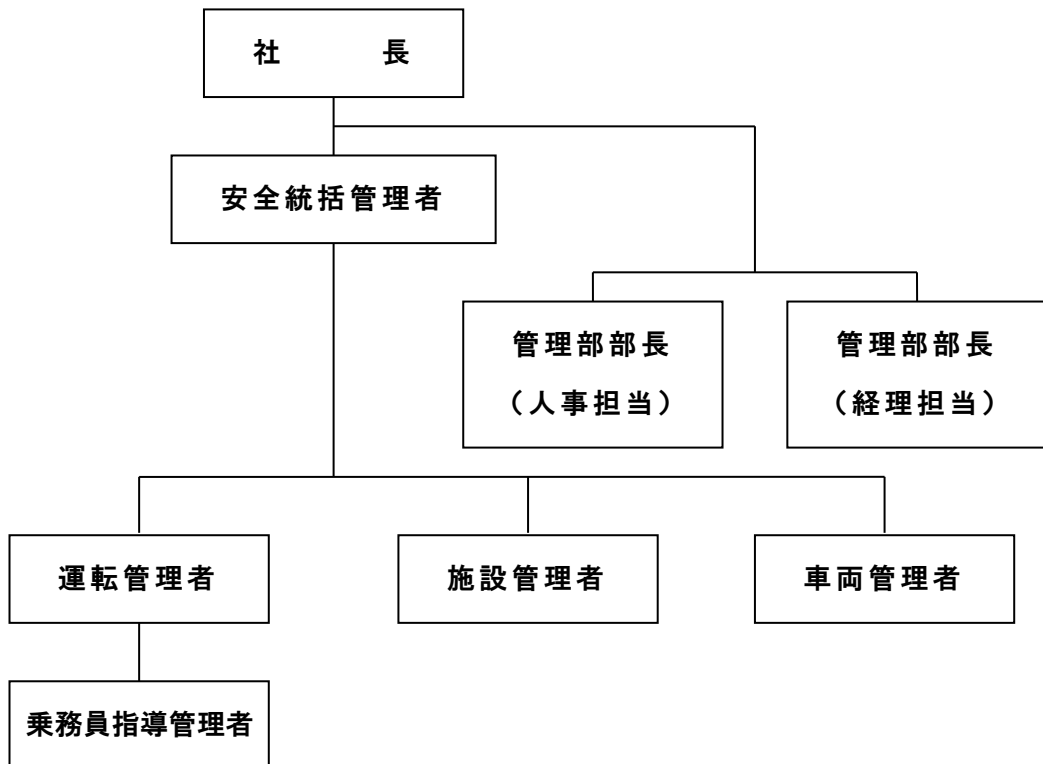
(写真：天神川橋梁耐震補強)

5. 安全管理体制

当社では、社長をトップに輸送の安全を確保するために、『安全管理規程』を定め、管理体制を下図のように明確にし、各責任者の役割を明確にしております。

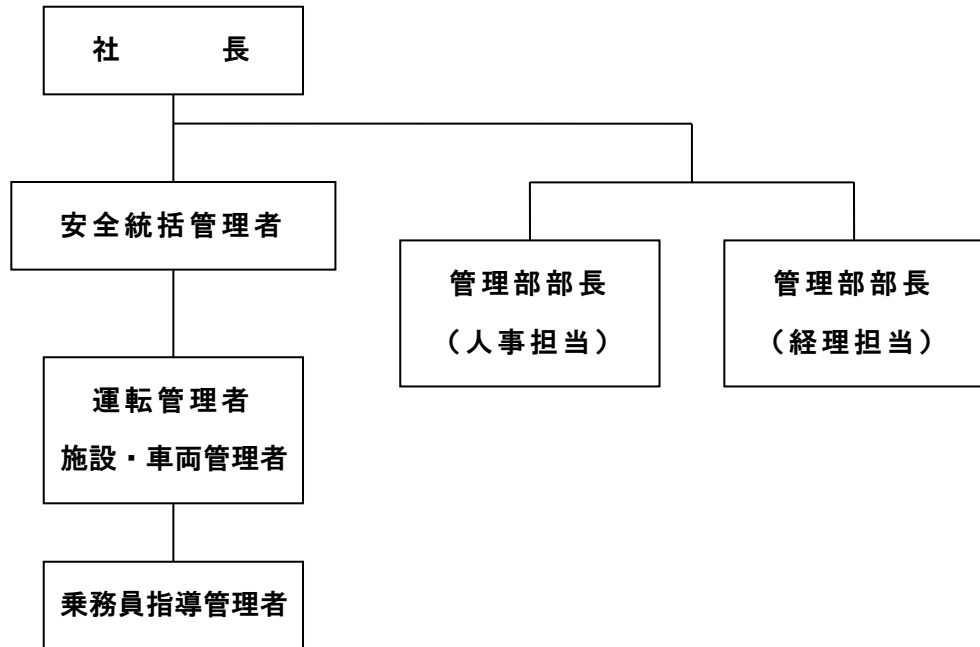
(1) 輸送の安全を確保するための体制

【嵐山線】

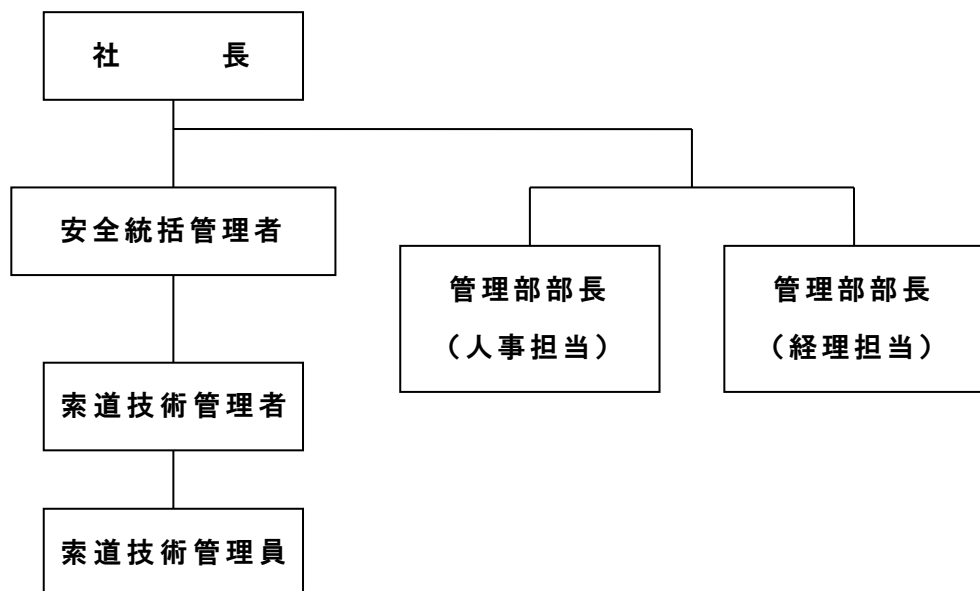




【鋼索線】



【架空索道】



(2) 役職及び役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。
管理部部長 (経理担当)	輸送の安全の確保に必要な設備投資計画、財務に関して全社的な調整を行う。
管理部部長 (人事担当)	輸送の安全の確保に必要な人事に関して全社的な調整を行う。

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 踏切事故防止キャンペーン

毎年11月1日～10日の10日間、
ドライバー及び歩行者の方々を対象に
踏切事故防止キャンペーンを実施して
おります。



踏切事故の防止のため、踏切での自動車等の
一旦停止にご協力をお願いします。

踏切の遮断時間が長くなる場合もございますが、
安全のためくれぐれも無理な横断をなさらないで下さい。



万一、踏切に異常を発見された場合は、踏切付近に設置の看板の宛先までご一報下さいますよう、お願い致します。

また、平成27年11月4日には、嵐山線沿線の朱雀第7小学校の3年生を西院車庫内に招き、安全な踏切の渡り方などを知っていただくため、『嵐電教室』を開催いたしました。

(2) こども110番の駅

登下校時のお子さまを犯罪から守るための運動に参加し、当社も駅事務所等に関西鉄道協会の統一ステッカーを掲出しております。

こどもたちが駅に助けを求めた場合には、当該こどもの保護や110番通報等の対応を行います。





(3) 併用軌道走行時のお願い

平素は併用軌道における電車運行にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

併用軌道敷内は原則通行不可となっておりますが、一部区間については通行可能となっております。併用軌道を走行される際は、前後の電車の接近に注意いただき、電車の接近時には軌道敷外を走行いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

(4) らんでんパスポートの配布

年3回、嵐山線沿線でパンフレット『らんでんパスポート』を配布しています。その中で併用軌道走行時のお願いや、駅の改良工事竣工箇所等についてお知らせしています。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見、ご感想は以下へお願いします。

京福電気鉄道株式会社

管理部（総務担当）

TEL 075-841-9381

FAX 075-841-4043

(9:00~17:00 土・日・祝日、

年末年始を除く)

